

—高度な実践力と深い専門性を学ぶ新たなステージへ—



愛知教育大学

より質の高い 専門職の養成を目指して

小学校教員採用試験の倍率は近年過去最低を更新し続けている状況です。臨時任用の講師も不足し、自治体によっては年度当初から学級担任でさえ不足する事態が起きています。教師不足は今や社会問題化しています。中央教育審議会は「多様な専門性を有する質の高い教職員集団の形成」と銘打って対策を講じています。その対策は、私の目には、教師の「量の確保」を優先しているように映ります。そのような状況だからこそ「質の保証」が大切であると思います。目先の対策だけでなく10年先20年先を見通した教員を育成する必要を強く感じます。

本学は2020年度に、これまでの大学院教育の成果を踏まえ、学部教育との一貫性・系統性を保ちながら、新しい学校づくりの核となり得る教員及び専門職業人の養成を目指して改革を行いました。また、この数年間でのニーズを踏まえ新たなコースを新設したり、選択が可能な実習を用意したりしています。

本学の大学院のカリキュラムには、多くの実習の機会がありますので、学部から直進で進学する学生の皆さんは、実習先で授業やカウンセリングを見たり、実践したりすることで、理想とする具体的なイメージをもち修了し、質の高い仕事のできる教員等の専門職を目指してほしいと思います。

現職で進学される皆さんは、それぞれ課題を持って進学してこられます。勤務しているとなかなか課題とじっくり向き合う時間が厳しいと思いますが、1年間、心のゆとりを持ち、じっくり向き合い教育観を見直すことが、その後の専門職としての生活を豊かなものにしていく機会になると思います。

また、2021年度から教育行政職等の高度化を目的とした「教育ガバナンスキャリアコース」を新設しました。新設に当たっては、豊橋市、豊田市、刈谷市のご理解をいただきました。全国でも珍しいコースであり、先進的な取り組みを進めています。

本学大学院で、皆さんと出会えることを楽しみにしています。

愛知教育大学長

野田 敦 敬

NODA Atsunori



愛知教育大学大学院の教育組織

教育学研究科

教育実践 高度化専攻 教職大学院の課程 標準修業年限2年 入学定員:120名 P.3	対 象 現職教員 現職教員 ・ 学卒者 ・ 社会人 等	コ ー ス 学校マネジメントコース 教科指導重点コース 【言語・社会科学系】 【理数・自然科学系】 【造形・創造科学系】 【小学校教育指導系】 児童生徒発達支援コース 【生徒指導・教育相談系】 【幼児教育実践系】 【養護教育実践系】 【特別支援教育実践系】 地域・教育課題解決コース 【外国人児童生徒支援系】 【ICT活用・科学ものづくり推進系】	取得学位 教職修士(専門職)
教育支援 高度化専攻 修士課程 標準修業年限2年 入学定員:30名 P.9	対 象 学卒者 ・ 社会人 等 留学生 学校事務職員 ・ 自治体職員 等	コ ー ス 臨床心理学コース 日本型教育 グローバルコース 教育ガバナンス キャリアコース	取得学位 修士(教育学)
共同教科 開発学専攻 後期3年のみの博士課程 標準修業年限3年 入学定員:4名(本学分) P.13	対 象 修士課程修了者 ・ 教職大学院修了者	分 野 教育環境学分野 人文社会系教科学分野 自然系教科学分野 創造系教科学分野	取得学位 博士(教育学)

教育実践高度化専攻

教職大学院の課程



教育実践高度化専攻は、学校教育に関わる理論と実践の融合を基本とし、理論の応用並びに実践の理論化に関わる諸能力の修得によって実践的指導力を備えた教員を養成するとともに、一定の教職経験を有する現職教員に対しては、確かな指導理論と実践力・応用力を備え、指導的役割を果たし得る教員を養成することを目的としています。

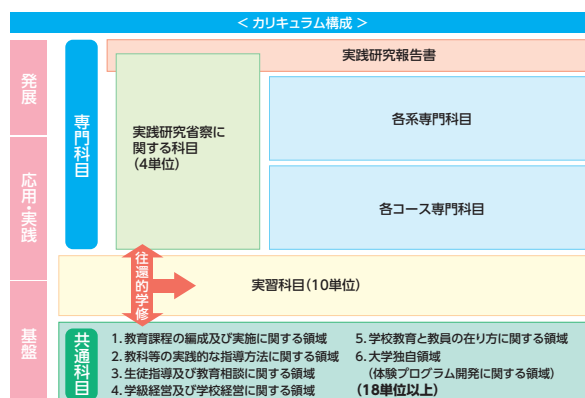
❖ カリキュラム

自らの教育実践を理論に基づき振り返ることができる実習を教育課程の中心に置くことにより、理論と実践の往還を持続的に発展させていくことを基本的な教育方法とし、カリキュラムを編成しています。

❖ 教職力向上プログラム・探究力向上プログラム

教育実践高度化専攻のすべてのコース・系では、以下のいずれかのプログラムを履修することとなります。

※ただし、探究力向上プログラムを履修できるのは、一部の系のみであり、履修を希望する者は、出願時に申請し、許可を受ける必要があります。



教職力向上プログラム

大学院修了後すぐに教育現場で活躍できることを目指し、基本的な授業づくりや基礎的な指導技術などの実践力を習得するためのものです。連携協力校の教育ニーズを踏まえた実践的な研究を行い、学部卒学生については、大学院修了後に「教員育成指標」の5年目と同程度の資質・能力を身に付けることを目指します。

■ 教職力向上プログラムを履修できる系・コース

- ・すべてのコース・系

探究力向上プログラム

学部での研究をさらに向上させ、教師としての専門性をより高度なものとしていきます。連携協力校での実践的な研究を深め、論文制作に取り組みます。大学院修了後に本学と静岡大学の共同教育課程である「共同教科開発学専攻」(後期3年のみの博士課程)を目指すことも可能です。

■ 探究力向上プログラムを履修できる系・コース

- ・教科指導重点コース(言語・社会科学系、理数・自然科学系、造形・創造科学系)
- ・児童生徒発達支援コース(すべての系)

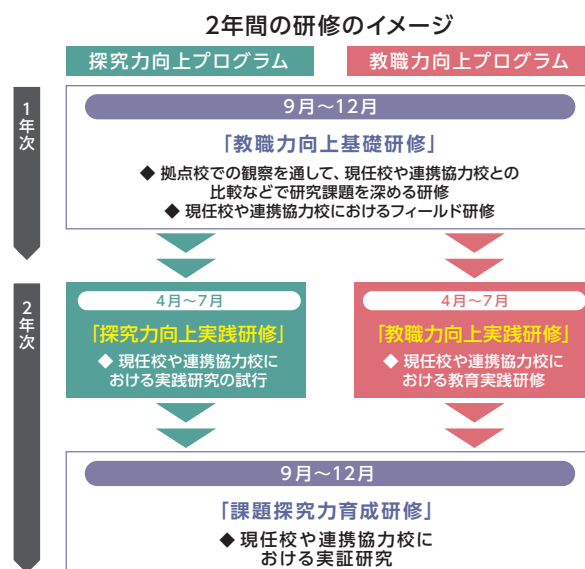
❖ 実習科目(研修)

本学教職大学院における実習科目は「研修」という名称を用いています。学部における教育実習と異なり、定められた到達目標に基づき、事前に学生自身が研究テーマや目的・内容・方法を明確にした計画書を作成し、研修に臨みます。また、研修の事後においては、計画書と研修の内容を踏まえた省察を行います。この研修により、大学院の理論と研修校の実践との往還を通して、実践的指導力と教育課題解決力の育成・向上を目指しています。

※一定の教職経験のある学生については、本人の申請に基づき、本学が定める審査基準によって実践成果を評価した上で、実習科目の一部履修を免除した単位認定を可能とします。

❖ 修了要件

本専攻では、理論と実践の融合を図るため、共通科目(18単位)と実習科目(10単位)を含み、修了するために必要な科目及び単位数計46単位について、次のとおり定めています。修了後、教職修士(専門職)の学位が授与されます。



科目区分	単位数(合計46単位)	内 容
共通科目	18	共通科目は、教育学・心理学などの教育科学系の専門性を活かし、理論と実践の往還を支える共通5領域科目(16単位)に加えて、大学独自に「体験プログラム開発に関する領域」(2単位)を設定しています。
専門科目	14	各コース共通科目でデザインされた科目群を基盤として、専門科目関連(10単位)を学修し、集大成として実践研究省察に関する科目(4単位・実践研究報告書作成)を設定しています。
実習科目	10	理論と実践を往還し、融合を図る学校研修を置いており、計10単位修得します。
自由科目	4	教育実践高度化専攻及び教育支援高度化専攻の全てのコースから、専門的関心に応じて計4単位修得します。

》 学校マネジメントコース

学年・学校経営力、カリキュラムマネジメント力に長けたミドルリーダーの育成

本コースは現職教員を対象としたコースです。カリキュラムの特徴としては、法的背景を基礎に、「チーム学校」として学年・学校の中心となつて活躍することができるミドルリーダー育成を目的としています。多様な理論に焦点をあてながら、学級・学年・学校経営、人的・財政的な組織マネジメントや、マスコミ対応を含めた危機管理、学校・人事評価、地域連携等の学修を行います。また、学級担任・学年主任・研究主任等、それぞれの立場におけるカリキュラムマネジメントを推進するために、学級・学年・学校マネジメント等を踏まえた組織開発、教師の職能育成のための授業研究の在り方等を中心に学修します。本コースでは、教科等の枠組みを超えて、学校教育を俯瞰的に分析し、これからの学年・学校づくりを探究する人材を求めます。

■ 時間割の例

1年 前期	月	火	水	木	金	1年 後期	月	火	水	木	金
1	人事マネジメント	道徳教育の理論と実践				1			クライシス／リスクマネジメント		
2		カリキュラムのデザインと評価	教職員の職能開発		学校マネジメントとリーダーシップ	2	研修実施日	教師の実践省察の理論と方法		研修実施日	協働的なマネジメントのあり方
3		アクティブ・ラーニングの授業と学習評価	ゼミ			3			ゼミ	研修実施日	特色ある学校カリキュラムづくりの事例研究
4		児童生徒をいかに学級経営のためのワークショップ				4					研究・研修のデザイン
集中講義	地域教育課題に関する体験プログラム開発、学校のリーガルマインド、特別支援の児童生徒理解と援助（メディア科目）					集中講義	地域協働と学校間連携				



磯部 征尊 准教授
ISOBE Masataka

共通科目 青
専門科目
コース共通専門科目 紫
コース専門科目 橙
実践研究省察科目 桃
自由科目 黒

※2年次は研修と実践研究報告書作成中心

❖ 専任教員紹介

詳しくはこちら »



職 名	氏 名
准教授	磯部 征尊
教授	鈴木 佳樹
教授	手嶋 修一
教授	松山 清美
教授	森 弘徳

※2025年7月現在



❖ 研究紹介

● 過去の修了生の実践研究報告書題目

研究指定校の知識資産を継承させる校内研修のデザイン

教員は、失敗とどのように向き合うべきかー「教員の失敗観に関する調査」の定量分析からー

ジョブ・クラフティングを活用した、教員が生き生き働く学年マネジメントー認知的クラフティングの促進を中心としてー

地域の防災力を高める学校の役割に関する研究ー学校の担う公助の視点からー

教科指導重点コース

言語・社会科学系(国語・社会・英語・生活)／理数・自然科学系(数学・理科・情報)／造形・創造科学系(音楽・美術・保健体育・技術・家庭)／小学校教育指導系

教科の特性を活かした教材・授業開発力の育成

本コースでは、教科教育の本質である教授法・カリキュラム論及び教科内容学を反映させた教材開発論に基づき、教科指導に関する共通性を学びつつ、各教科の固有性・専門性を学びます。

言語・社会科学系、理数・自然科学系、造形・創造科学系の3つの系では、小・中学校における実践力及び探究力の育成を目指す義務教育履修モデルと、高等学校における実践力及び探究力の育成を目指す高校教育履修モデルを置き、児童・生徒の発達段階や、教科の特性に基づいた講義や研修を通して高い実践力を有する学生の育成を目指しています。また、令和6年度から開設した小学校教育指導系では、小学校における授業づくりの方法論、学級経営、幼小・小中連携や教科横断的な視点等について学びを深めていきます。

時間割の例【小学校教育指導系の場合】

1年前期	月	火	水	木	金
1		道徳教育の理論と実践	教科横断的なカリキュラムの創造		
2	総合的学習のカリキュラム編成と実践	カリキュラムのデザインと評価	カリキュラムの構想と授業づくり		学校マネジメントとリーダーシップ
3		アクティブ・ラーニングの授業と学習評価	ゼミ		
4		児童生徒をいかに学級経営のためのワークショップ			
集中講義	地域教育課題に関する体験プログラム開発、特別支援の児童生徒理解と援助(メディア科目)、生徒指導・相談活動の実践的な進め方(メディア科目)				

1年後期	月	火	水	木	金
1		教科教育の理論と実践(道徳・特別活動)			
2	研修実施日	教師の実践省察の理論と方法	教科教育の理論と実践(図画工作・美術)	研修実施日	協働的なマネジメントのあり方
3		教科教育の理論と実践(小学校社会)	ゼミ		特色ある学校カリキュラムづくりの事例研究
4					
集中講義					



福井 真二 教授

FUKUI Shinji

共通科目 青
専門科目
コース共通専門科目 紫
系共通科目 赤
系専門科目 橙
実践研究省察科目 桃
自由科目 黒

※2年次は研修と実践研究報告書作成中心



専任教員紹介

詳しくはこちら



職 名	氏 名	担 当
特別教授	丹藤 博文	言語・社会科学系(国語)
准教授	砂川 誠司	
教授	近藤 裕幸	
教授	保立 雅紀	言語・社会科学系(社会)
准教授	真島 聖子	
教授	犬塚 章夫	言語・社会科学系(英語)
教授	建内 高昭	
准教授	西野 雄一郎	言語・社会科学系(生活科)
教授	久野 哲司	理数・自然科学系(数学)
教授	山田 篤史	
准教授	青山 和裕	理数・自然科学系(理科)
教授	伊東 章二	
教授	大鹿 聖公	理数・自然科学系(情報)
教授	平野 俊英	
教授	福井 真二	造形・創造科学系(音楽)
准教授	齋藤 ひとみ	
教授	國府 華子	造形・創造科学系(美術)
教授	新山王 政和	
教授	中村 僚志	造形・創造科学系(保健体育)
准教授	杉林 英彦	
教授	上原 三十三	造形・創造科学系(技術)
教授	三宅 隆之	
准教授	鈴木 一成	造形・創造科学系(家庭)
准教授	成瀬 麻美	
教授	本多 満正	小学校教育指導系
教授	青木 香保里	
教授	加納 誠司	小学校教育指導系
教授	松井 孝彦	
准教授	城所 美和	
准教授	森 永理奈	
准教授	吉田 貴章	小学校教育指導系

研究紹介

過去の修了生の実践研究報告書題目

- 言語・社会科学系(社会)
歴史系外部人材との対話・協働による「歴史の教訓」を扱う授業のデザイン・評価—単元「今、江戸時代のリサイクルの知恵は使えるのか?」の開発と実践を通して—
- 理数・自然科学系(数学)
「誤りを利用した問題」による中学校数学の指導—第1学年「方程式」での実践—
- 理数・自然科学系(理科)
学習を自己調整できる児童の育成—自己調整学習の要素を組み込み、段階ごとの循環を重視した理科学習を通して—
- 造形・創造科学系(保健体育)
体育学習における共に創る教材作りの考察—教師と学習者による共感的教材理解の実践的研究—

》 児童生徒発達支援コース

生徒指導・教育相談系／幼児教育実践系／
養護教育実践系／特別支援教育実践系

発達段階に即した問題解決力の育成

このコースは、子どもの心身の発達を多面的に捉え、個に即した問題解決力を備え、学校組織内外の専門スタッフと連携・協働を進めることができる人材の育成を目的とします。

大学院の授業では、コース共通科目である「子どもの発達と援助ニーズの理解と実践」、「子どものことばの発達とその支援」、「協働のための社会資源の理解と活用」を通じて、子どもの発達過程や特別な支援を必要とする子どもについて学ぶとともに、「チーム学校」の理念のもと、子どもを取り巻く社会資源の理論と実践について学びます。そして、各系で展開される専門科目で専門内容についての学びを深めていきます。



山田 浩平 准教授
YAMADA Kohei

■ 時間割の例【特別支援教育実践系の場合】

1年 前期	月	火	水	木	金
1				知的障害児 児童生徒の理 解と支援	
2	子どもの発 達と援助 ニーズの 理解と実践	カリキュラム のデザイン と評価	聴覚障害児 児童生徒の理 解と支援	肢体不自由 児童生徒の理 解と支援	
3		アクティブ・ ラーニング の授業と学 習評価	ゼミ		
4		児童生徒を いかに学級 経営のための ワークショップ			
集中 講義	地域教育課題に関する体験プログラム開発、 特別支援の児童生徒理解と援助(メディア科目)、 生徒指導・相談活動の実践的な進め方(メディア科目)				

1年 後期	月	火	水	木	金
1			特別支援教 育と発達臨 床		子どものこ とばの発達 とその支援
2	研修 実施日	教師の実践 省察の理論 と方法	発達障害児 児童生徒の理 解と支援	研修 実施日	協働的な学 校マネジメントのあり 方
3			ゼミ		特別なニ ーズのある児 童生徒のア セスメント
4					
集中 講義	Society 5.0に向けたAI活用のできる人材育成(メディア科目)				

共通科目……………青
専門科目……………
コース共通専門科目…紫
系専門科目……………橙
実践研究省察科目…桃
自由科目……………黒

※2年次は研修と実践研究報告書
作成中心

❖ 専任教員紹介

詳しくはこちら》



職 名	氏 名	担 当
教授	石田 靖彦	生徒指導・教育相談系
教授	野平 慎二	
准教授	片山 悠樹	
准教授	竹川 慎哉	
教授	林 牧子	幼児教育実践系
教授	深江 健司	特別支援教育実践系
教授	吉岡 恒生	
准教授	小倉 靖範	
特別教授	浅田 知恵	養護教育実践系
准教授	岡本 陽	
准教授	山田 浩平	

※2025年7月現在



❖ 研究紹介

● 過去の修了生の実践研究報告書題目

- 生徒指導・教育相談系
小学校外国語科における教師のScaffolding
の実践と課題-WTCモデルの「その場での
コミュニケーションの自信」に焦点を当ててー
- 幼児教育実践系
年少児クラスにおける席決めを巡る個
人と集団の変容プロセス
- 養護教育実践系
養護教諭が行う保健室来室者への判断
と対応についての省察
- 特別支援教育実践系
中学校通常学級の英語の授業場面での
集団随伴性に基づく指導ー生徒の援助
報告と英単語テスト成績への効果ー

》地域・教育課題解決コース 外国人児童生徒支援系／ICT活用・科学ものづくり推進系



松永 豊 教授
MATSUNAGA Yutaka

地域との連携協働による教育諸課題への対応力の育成

このコースは、現代の教育課題を学校内外の関係者・関係諸機関との連携の中で解決していける人材の育成を目的とします。

外国人児童生徒支援系では、教員として外国人児童生徒や保護者の支援ができるだけでなく、多角的な視点から「多文化共生社会／学校」づくりを中心となって進めていける人材の育成を目指します。そのため、広く社会問題に関心を持ち、柔軟な発想ができる、自ら課題解決に動こうとする人を求めます。

ICT活用・科学ものづくり推進系においては、STEAM教育をはじめとして、社会の変化に柔軟に対応でき、新たな価値を創造できる人材の育成が目的です。教育現場でのICT利用を含む、様々な形でのICTの活用法を学び、実践力を身に付けます。また、科学ものづくりの面白さを理解したうえで、教材作りや授業構築に役に立つ力を学修します。

時間割の例【外国人児童生徒支援系の場合】

1年前期	月	火	水	木	金
1		道徳教育の理論と実践			
2		カリキュラムのデザインと評価	多文化共生社会と日本語教育の課題		学校マネジメントとリーダーシップ
3		アクティブ・ラーニングの授業と学習評価	ゼミ		
4		児童生徒をいかに学級経営のためのワークショップ			
集中講義	地域教育課題に関する体験プログラム開発、教科学習における日本語教育の実践、特別支援の児童生徒理解と援助(メディア科目)				

1年後期	月	火	水	木	金
1					次世代の教育課題と地域創生
2	研修実施日	教師の実践省察の理論と方法	保護者・地域の支援ネットワークとの連携	研修実施日	協働的な学校マネジメントのあり方
3			ゼミ		特色ある学校カリキュラムづくりの事例研究
4					
集中講義	外国人児童生徒への日本語教育の教材開発、Society 5.0に向けたAI活用のできる人材育成(メディア科目)				

共通科目 青
専門科目 紫
コース共通専門科目 橙
系専門科目 桃
実践研究省察科目 桃
自由科目 黒

※2年次は研修と実践研究報告書作成中心

専任教員紹介

詳しくはこちら 》



職 名	氏 名	担 当
教授	梅田 恭子	ICT活用・科学ものづくり推進系
教授	松永 豊	
特別教授	児玉 康一	外国人児童生徒支援系
准教授	川口 直巳	

※2025年7月現在



研究紹介

過去の修了生の実践研究報告書題目

○ ICT活用・科学ものづくり推進系
小学校低学年におけるICT活用に関する研究～ICT機器導入時の諸問題解決に向けた方策～

家庭学習との連携を通して自己効力感と分析力を育成する実践研究～自律した学習者への第一歩にむけて～

○ 外国人児童生徒支援系
外国人生徒在籍学級における英語授業実践～日本人生徒と外国人生徒の関係構築を目指して～

外国にルーツをもつ子どもたちへのキャリア教育～自分のルーツを肯定的に捉えるアイデンティティ形成へとつなげるための教師の支援～

学生インタビュー

その他のインタビューはこちらから



■ 教職大学院へ進学した理由について教えてください。

教育について深く高度な内容を講義や研修から学び、教員としての総合的な実践力を高めたい、そして、美術教育や特別支援教育についてさらに実践的に学びたいという思いがあったからです。教職大学院では、理論と実践の往還が掲げられており、両方の側面を充実させることができるため、非常に魅力的であると思い、進学を決意しました。

また、私は特別支援教育に関心があり、様々な特性や困り感を抱える子どもたちを少しでも支えることができる力をつけたいという思いも進学を後押ししました。

■ 教職大学院で学んでよかった・大変だと感じることは何ですか。

学校現場で一日研修をすることで、教員という職業への理解を深め、授業実践を行う中で本物の子どもの声を聞くことができます。教育についての理解を深め、教員としての自分を見つめる上で教職大は大変良い環境であると思います。大学院1年生のときは、講義と研修が並行してあるため、少し大変かもしれませんが、その時にしかできない貴重な経験となると思います。

■ 修了後はどのような先生になりたいですか。

子どもたちが主体的に学びたいような授業を行うことができる教員、そして、特性のある子どもたちが少しでもその困り感を乗り越え、充実した学びを得ることができる支援や指導を行うことができる教員を目指したいと思います。この根幹には、私が研究テーマにしている「コミュニケーション」があり、全ての子どもがコミュニケーション力を身に付けて、自らの人生を豊かに彩ることができる子どもを育てていきたいです。



教育実践高度化専攻
教科指導重点コース
造形・創造科学系(美術)2年生

北橋 博貴さん

取得可能免許状

対応する一種免許状を大学院の単位修得によって対応する専修免許状を取得することができます。

- 幼稚園教諭専修免許状
- 小学校教諭専修免許状
- 中学校教諭専修免許状
国語、社会、数学、理科、音楽、美術、保健体育、保健、技術、家庭、職業、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教
- 高等学校教諭専修免許状
国語、地理歴史、公民、数学、理科、音楽、美術、工芸、書道、保健体育、保健、看護、家庭、情報、農業、工業、商業、水産、福祉、商船、職業指導、英語、ドイツ語、フランス語、宗教
- 特別支援学校教諭専修免許状
視覚、聴覚、知的、肢体、病弱
- 養護教諭専修免許状

1年修了プログラム

次の要件を満たす方で入試時に事前審査へ申請し、許可された場合、受講することができます。

受講学生は、実習科目全10単位を免除され、1年で大学院の修了を目指すプログラムです。

本プログラムへの申請資格

以下のすべてを満たす現職教員で教育実践高度化専攻全コースの志願者

- ・常勤職員としての教職経験が、20年以上あること。
- ・在学中、休業予定であること。

詳しくはこちら



小・中学校教員免許状取得プログラム

本プログラムでは、教職大学院に3年間に在学し、教職大学院の授業履修に加えて、学部の免許状取得に必要な科目を履修することで、他校種の教育職員免許状を取得できます。授業料については所定の修業年限(3年)相当の授業料を納入します。

本プログラムの
学生数

小学校：30名以内
中学校：若干名

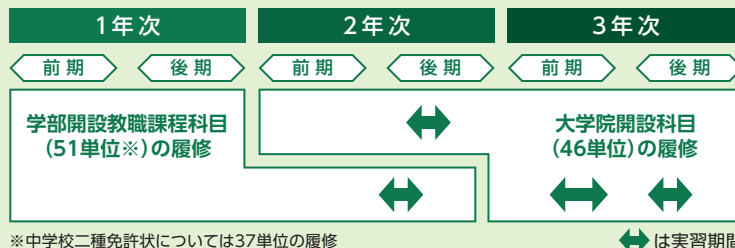
本プログラムの
中学校開講教科

英語、音楽、美術、保健体育、技術、家庭、国語(二種免許状のみ)、
社会(二種免許状のみ)、数学(二種免許状のみ)、理科(二種免許状のみ)

本プログラムへの
申請資格

小学校：本学大学院に願した者のうち、小学校教員免許状を取得していない者(取得見込みの者は不可)
中学校：本学大学院に願した者のうち、幼稚園・小学校・中学校(他教科)・高等学校(他教科)いずれかの教員免許状(一種)を有する者又は取得見込みの者

モデルスケジュール



教職修士(専門職)

+

小学校教諭専修免許状、
中学校教諭免許状(各教科)※

※英語・音楽・美術・保健体育・技術・家庭については専修免許状、国語・社会・数学・理科については二種免許状となります。

教育支援高度化専攻

修士課程

教育支援高度化専攻は、教育現場と地域に即した高度な専門的知識、教育方法、研究能力を身に付け、学校をプラットフォームとした「チーム学校」体制の実現を目標とする次世代の日本型教育システムを研究開発し、それを諸外国も含め実践・発展できる人材を育成することを目的としています。

2020年度から、心理専門職を養成する「臨床心理学コース」と留学生を対象とした「日本型教育グローバルコース」の2コースを設置しています。また、2021年度からは、次世代型教育・学校づくりをリードする教育行政職を養成する「教育ガバナンスキャリアコース」を設置し、計3コースを設置しています。

スクールカウンセラー、公認心理師、臨床心理士等を目指す方



臨床心理学コース P.10

日本の教育を学び、帰国後に指導者となることを目指す外国籍の方



日本型教育グローバルコース P.11

教育行政リーダーを目指す学校事務職員や教育行政職員の方



教育ガバナンスキャリアコース P.12

❖ 修了要件

本専攻では、共通科目、コース専門科目、「特別研究科目」としてのゼミ科目について、下表のとおり修得し、修士論文の審査に合格することで、修士(教育学)の学位が授与されます。

詳しくは、右の二次元バーコードからご確認ください。



科目区分	単位数(合計30単位)			内 容
	臨床心理学コース	日本型教育グローバルコース	教育ガバナンスキャリアコース	
共通科目	必修4	必修4	必修4	地域的課題と国際的な視野からの教育力の養成及び各コースの基盤となる共通科目です。
	選択2	選択2	選択2	
専門科目	選択16	選択14	選択16	各コースの専門性及び研究能力を高めるためのコース科目です。
ゼミ科目	必修4	必修4	必修4	修士論文の作成等に関する研究指導を中心とした特別研究科目です。
自由科目	選択4	選択6	選択4	専門職学位課程での開設科目も履修できる「相互履修」を保障し、「チーム学校」を意識した能力の高度化を図ることを目的としています。

❖ 共通科目担当 専任教員紹介

詳しくはこちら >>>



職 名	氏 名	所属講座
准教授	佐野 真紀	福祉講座

※2025年7月現在

在学生、修了生の声をホームページに掲載しています。



臨床心理学コース

「チーム学校」として地域社会で協働できる高度な心理専門職の育成

社会の多様化や経済成長の停滞に伴って、保健医療、福祉、教育などの多領域における心理支援の必要性が高まっています。コロナ禍以降、不登校の増加は著しく、今やスクールカウンセラーなどの心理専門職は、地域社会において不可欠な存在です。また、いじめや不登校、神経発達症のある子どもやその保護者支援などの心理・教育的課題だけでなく、児童虐待や貧困、災害時の心のケアなどにおいて、心理学を基盤とした支援や心理アセスメントにおける高度な実践力が求められます。本学では、心理職としての専門知識及び実践技能の獲得とともに、クライアントに真摯に向き合い、他者と協働できる「現場志向の専門職養成」を目指します。



高橋 靖子 教授

TAKAHASHI Yasuko

取得できる受験資格

臨床心理士

臨床心理学の知識や技術を用いて人間のこころの問題にアプローチするところの専門家です。公益財団法人日本臨床心理士資格認定協会による第1種指定大学院の指定を受けており、修了すると実務経験免除で受験資格を得ることができます。

公認心理師

保健医療・福祉・教育等の広範な領域において、心理学に関する専門的知識及び技術をもって観察・分析、助言・指導、教育・情報提供する心理職の国家資格です。所定の単位を取得することで受験資格を得ることができます。（ただし、学部において所定の心理学関連科目の単位を修得していることが条件となります。）

時間割の例 ※2年次は実習・修士論文作成中心

1年前期	月	火	水	木	金	土
1		心理実践実習（教育領域）	臨床心理学特論（一部） （心理実践実習Ⅰ）	発達臨床学特論（一部）		
2	障害児臨床特論			臨床心理学特論Ⅰ	臨床心理面接特論Ⅱ	
3	心理・教育統計法特論		臨床心理実習Ⅰ （臨床心理基礎）	臨床心理面接演習Ⅰ	学校臨床心理学特論	
4	精神医学特論			臨床心理査定演習Ⅱ		
5						
6				学校臨床実習Ⅰ		
集中講義	発達臨床学特論（一部）、教育・子どもの支援高度化のための理論と実践、人間関係学特論、臨床心理学研究法、人格心理学特論、投影法特論、心理実践実習（※2年にかけて履修）					

1年後期	月	火	水	木	金	土
1			臨床心理実習Ⅱ			心理実践実習（学内相談施設）
2	犯罪心理学特論	心理実践実習（福祉領域）		臨床心理面接特論Ⅰ		
3	臨床心理学特論Ⅱ		臨床心理実習Ⅱ （臨床心理基礎）	臨床心理面接演習Ⅱ		
4	臨床心理査定演習Ⅰ					
5				心理健康教育特論		
6				学校臨床実習Ⅱ		
集中講義	家族心理学特論、地域協働と学校間連携、特別研究Ⅰ					



専任教員紹介

職名	氏名
教授	鈴木 伸子
教授	高橋 靖子
教授	原 幸一
准教授	安藤 久美子
准教授	鈴木 美樹江
准教授	高柳 伸哉
准教授	星 あづさ
講師	石川 千絵
講師	増山 晃大

※2025年7月現在

詳しくはこちら



修了生インタビュー

教育支援高度化専攻 臨床心理学コース 2022年度入学 松本 伽音さん

◇臨床心理学コースへ進学した理由について教えてください。

私は、不登校や児童虐待、発達障害など様々な困難を抱える子どもと家族への心理支援がしたいと考えていました。本コースは学内外の実習やケースカンファレンスの体制が充実していることから、クライアントの心理的課題の背景にあるメカニズムや、個別性のある心理支援について実践的に探求できると考えました。

◇大学院生活の中で、印象に残っていることを教えてください。

学内相談室の実習において、仲間と深く語り合うと同時に、学内外の教員のスーパービジョン（SV）を受けられたことが印象に残っています。学内実習では初めてケースを担当し、一人一人のクライアントさんと真摯に向き合うよう努力をしましたが、自分の力量不足を感じ、クライアントさんの役に立つことができていないことも多々ありました。その中で、SV教員から新たな視点を学び感銘を受けたり、温かな励ましに支えられたりすることがありました。加えて、ケースの見立てや支援方針を仲間と真剣に語り合ったことは、自分の未熟さに打ちのめされそうなどの大きな支えとなりました。学問的な知識や理論、技術を実際の現場に活かすことは想像以上に難しいことですが、先生方と仲間の存在により、実習を通して自分の臨床観を育て、心理学的な知識を現場に応用する基盤をつくることができたと思います。

◇入学を考えている方へのメッセージをお願いします。

修士課程の2年間は心理職の土台をつくる時期であり、その後の自分の心理職としてのスタンスや考え方にも深く関わってくるかと思います。本コースは「子どもの臨床」に強く、教育・発達・医療の多方面から、子ども・家族への心理支援について現場に根差して探求できます。また、研究についてもゼミの仲間と意見を交わし、指導教員の丁寧な指導を受けながら、自分の関心テーマを主体的に掘り下げられる環境があります。そして何より院生同士の対話や修了生との繋がり、先生方への相談のしやすさといったソフト面も、心理職を目指す自分の成長にとっては欠かせなかったと思います。院修了後も仕事で迷ったときは大学院での学びに立ち返ることが多く、大学院での全ての経験が現場の臨床に活きていると実感しています。心理職への熱意があれば、充実した院生活を送ることができると思います。

》日本型教育グローバルコース Japanese-style Education Course

日本型教育システムを自国教育に拡充する教育者・研究者の育成

本コースは留学生専用のコースです。本コースの目的は、留学生が日本の教育を学び、帰国した後、それを母国に広めてもらうことです。本コースの学生は、小学校・中学校・高等学校の各教科の教育方法や教材研究について学ぶことができます。授業研究と呼ばれる、日本型の教科開発の方法を学ぶこともできます。本コースの授業科目のほか、教職大学院の授業科目も履修することができます。本コースへの入学を希望する方は、事前に教務企画課に相談してください。

The course aims to provide the international students with a comprehensive understanding of Japanese-style education, which will be useful skills required to be successful scholars and teachers after returning to their home countries. Students can learn the teaching methods and teaching materials of each subject taught in elementary, junior high and senior high schools. They can also learn "Jugyo Kenkyu", known as the Japanese-style Lesson Study for developing teaching subjects. Outside of our course, students can take the classes of the Graduate School of Professional Teacher Education. If you are interested to apply to our course, please contact the Educational Affairs and Planning Division before submitting the application document.

時間割の例 ※2年次は修士論文作成中心

1年 前期	月	火	水	木	金	1年 後期	月	火	水	木	金
1		日本における教科の内容と指導法 I	探究型カリキュラム・教材の開発とグローバル化			1					
2			日本型教材の開発と授業デザイン I			2	日本型教育システムにおけるICT活用方法				
3		教育制度・カリキュラムの国際比較		教育における統計分析の方法		3	日本型教材の開発と授業デザイン II			学校におけるICT活用方法	
4		人間発達国際比較		日本型教育の理解のための日本語 I		4	日本型教育の理解のための日本語 II				
集中講義	教育・子どもの支援高度化のための理論と実践 日本型教育実践研究 II					集中講義	地域協働と学校間連携 日本型教育実践研究 I 特別研究 I				



マイヤー オリバー 教授
MAYER Oliver



◆専任教員紹介

詳しくはこちら 》



職名	氏名	所属講座
教授	MAYER Oliver	教育ガバナンス講座
教授	北野 浩章	日本語教育講座
教授	浅井 暢宏	数学教育講座
教授	小谷 健司	数学教育講座
教授	加藤 淳太郎	理科教育講座
教授	中野 博文	理科教育講座
教授	宮川 貴彦	理科教育講座
教授	鎌田 敏之	技術教育講座
教授	北村 一浩	技術教育講座

※2025年7月現在

◆過去の修士論文

- 日本の教育大学学生の性教育経験及び指導力に関する考察—包括的性教育を軸にして
- 留守児童の母親の生活実態と家庭・仕事役割—ライフコースを視点とした四川省での調査から—
- Problem-Solving Mechanisms Employed by Japanese Students in an EFL Classroom
- 高等学校物理で扱う内容の日中比較及び有用な実験課題の研究

修了生インタビュー

◇日本型教育グローバルコースへ進学した理由について教えてください。

私はバングラデシュのダッカ大学において、日本言語文化学科で学士課程を修了しました。在学中、日本語教師としての専門性を高めたいと考えようになりました。しかし、バングラデシュの日本語教育により貢献するためには、日本の大学院で専門的な教育を受けることが必要であると考えました。そこで、日本の教育系大学について調査を進めた結果、愛知教育大学は教員養成を専門とする大学であり、私の志向に最も適した環境であると判断しました。

◇研究テーマについて教えてください。

バングラデシュの日本語学習者がより効果的に敬語を学べる教授法を探索するため、「より適切な敬語教授法の提案—バングラデシュ人日本語学習者を対象に—」を研究テーマとして設定しました。本研究を通じて、バングラデシュの日本語学習者のみならず、南アジアをはじめとする世界中の日本語学習者にも貢献できると考えています。

◇日本型教育グローバルコースでの経験が進路決定にどのように活かされたのかを教えてください。

日本型教育グローバルコースを通じて、日本の教育制度や教授法について体系的に学ぶことができました。特に、日本語教育における教授法の理論と実践のバランスを重視したカリキュラムは、研究テーマである「より適切な敬語教授法の提案」に対する理解を深める重要な要因となりました。また、多様な国籍の学生や教育者との意見交換を通じて、日本型教育の特性やその国際的適用可能性について考察する機会を得ました。これらの経験は、愛知教育大学大学院博士課程への進学および今後の研究活動、さらには将来の日本語教育に携わるうえでの指針となり、進路決定に大きく寄与しました。



教育支援高度化専攻
日本型教育グローバルコース
2023年度入学

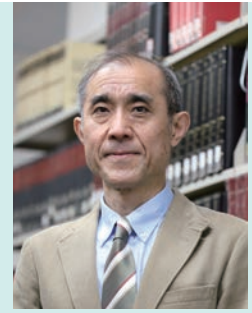
RAHMAN MD
TAREKさん

》教育ガバナンスキャリアコース

「次世代型教育・学校」づくりをリードする専門職人材を育成

本コースは、自治体職員や学校事務職員等、社会で活躍するミドル人材を受け入れ、教育・学校での現代的課題の解決を図る実践的応用力を有する教育行政専門職の育成を目的としています。

目的に向けて、教育・学校現場におけるニーズを的確に把握し、地域や学校の実情と政策の動向を踏まえた総合教育計画やGIGAスクール構想を受けた教育の情報化ビジョンや教育環境整備計画の策定、コミュニティ・スクールや地域学校協働本部の設置・活性化など、自治体の教育政策や学校経営の基本方針を戦略的に企画・立案でき、教育・学校づくりに関わる業務を専門的見地から支援・調整できる資質・能力を養います。次世代の教育・学校づくりに高い志を持ち、教育行政リーダーを目指す皆さんをお待ちしています。



本多 正人 教授
HONDA Masato

■ 専攻科目の構成



■ 時間割の例

1年 前期	月	火	水	木	金
6 (18:20~19:50)	教育政策の 分析と戦略 立案	教育行政の 組織と法制 度		教育におけ る統計分析 の方法	
集中講義	教育・子どもの支援高度化のための理論と実践 教育を取り巻く経済事情(隔年開講) 多文化共生社会論 教育ガバナンスリーダーシップ演習 教育ガバナンスフィールド調査Ⅰ				
1年 後期	月	火	水	木	金
6 (18:20~19:50)	教育事務職 員の職能開 発と研修プロ グラム開発	教育と公共 政策		教育の情報 化概論	
集中講義	地域協働と学校間連携 学校のガバナンスとマネジメント 地域教育計画と地域学校協働 教育政策・学校経営インターンシップ 特別研究Ⅰ				

2年次 前期開講科目

- ・学習環境デザイン論
- ・公教育財政論
- ・教育と子どもの権利論
- ・教育メディアの理論と実践(隔年開講)
- ・教育ガバナンスフィールド調査Ⅱ
- ・特別研究Ⅱ

※2年次後期は修士論文作成中心



❖ 専任教員紹介

職 名	氏 名
特別教授	大村 恵
教授	江島 徹郎
教授	風岡 治
教授	中筋 由紀子
教授	野崎 浩成
教授	本多 正人
准教授	川北 稔

※2025年7月現在

詳しくはこちら》



❖ 過去の修士論文

- ・地域資源活用のための学校と地域の連携・協働のあり方に関する考察
- ・不登校支援政策における中間支援組織の機能に関する考察
- ・日本の教育分野におけるPublic Service Motivationの拡張
- ・学校における公文書管理事務の再評価と学校の事務負担軽減につながる管理方法に関する考察
- ・学校における情報教育を活用した戦略的学習力の育成の試み
- ・小・中学校における児童生徒の学校運営協議会への関与に関する研究—意義・効果・環境の視点から—
- ・中核市における学校統廃合の事例研究:効果的な行政手法の考察
- ・子どもの貧困対策としての特別支援教育就学奨励費の経緯と課題
- ・動画やキャラクター等のメディアを活用した対話による教育の実践と地域の活性化への試み
- ・共同学校事務室における心理的安全性が校務運営参画に及ぼす影響について
- ・学校と地域の対等性を高めるコミュニティ・スクールの取り組みに関する研究—学校運営協議会委員の意識の変化に着目して—
- ・C市における就学援助事務プロセスの検証

修了生インタビュー

◇教育ガバナンスキャリアコースへ進学した理由について教えてください。

私は、市立学校の学校事務職員として勤務しています。これまでの職務を通じて、実務に密接に関連する教育制度にも関心を持つようになり、学校事務を教育行政と一体として捉える視点が重要だと感じるようになりました。そのような視点をさらに深めるための場を探していた際、ちょうど本コースの設置を知り、これを学ぶ絶好の機会だと思い進学を決意しました。

◇修士課程で得られたことは何ですか。

修士課程の授業や研究を通じて、同期を始めとする様々な立場の方々とディスカッションや交流を重ねる中で、私が持っていた教育に対する認識が一面的なものであったことに気づかされました。学校現場や政策立案者といった特定の立場だけでなく、教育に関わる多様な視点が存在することを、実務に携わる一職員としても深く理解し、それらを適切に整理して実践に繋げていくことが、教育政策を効果的に実施するために重要であると学びました。

◇入学を考えている方へのメッセージをお願いします。

ここ数年で、学校や学校事務職員に求められる役割は大きく変化しています。現場では、これまでとは異なる職員や関係者との関わる機会が増え、新たな課題に対応することも多くなっているのではないのでしょうか。このような環境の中で、学校事務職員として、目の前の子どものウェルビーイング向上に貢献するためには、教育に関する知識や認識をより広く、深くアップデートしていくことが非常に有効だと考えます。ぜひ、新しい学びに踏み出してみてください。



教育支援高度化専攻
教育ガバナンスキャリアコース
2021年度入学

上村 友太さん

共同教科開発学専攻

後期3年のみの博士課程

【教育環境学分野・人文社会系教科学分野・自然系教科学分野・創造系教科学分野】

体系的な教員養成カリキュラムの編成
及び専門科目の体系化を可能とする大学教員養成

共同教科開発学専攻は、共同教育課程制度を活用し、愛知教育大学と静岡大学の教育学研究科に設置された、後期3年のみの博士課程です。

教育を取り巻く社会状況や学校教育が抱える課題が複雑化し、学校教育現場の教員に高い資質能力が求められています。中央教育審議会においても、教員の資質能力の向上のための教員養成システムにおける修士レベル化が検討され、各地に教職大学院が設置されています。これらに対応するための体系的な教員養成カリキュラムの編成及び専門科目の体系化、また、それを可能とする大学教員養成が喫緊の課題となっています。このような課題に応えるため、両大学ともに、理論と実践を融合した高度な研究と教育を行い、その知見によって広く学校・社会で活躍できる人材の育成に取り組んでいます。

❖ 本共同大学院の主な特徴

- ・愛知教育大学と静岡大学の連名による学位「博士(教育学)」が授与されます。
- ・学籍を置いた大学以外の構成大学の教員からも研究指導を受けることができます。
- ・愛知教育大学、静岡大学両大学で開講する講義を受講することができます。
- ・土・日曜日、夏季・冬季休業を利用して単位取得・学位取得が可能です。
- ・在職中の方でも、休職せずに学ぶことができます。
- ・長期履修制度により、余裕のある学生生活を送ることができます。

共同大学院に関する詳細な情報については、右の二次元バーコードからご確認ください。



❖ 「教科開発学」とは

専攻名称ともなっている「教科開発学」は、教科専門・教科教育・教職専門の枠を越えて、子どもたちを取り巻く環境を視野に入れ、教科との関わりの中で学校教育が抱える複雑・多様化した諸問題に対応した研究を遂行していくため、教科専門と教科教育を融合・発展させた「教科学」と、教職専門を発展させた「教育環境学」とをあわせて体系化することを目指す新たな学問領域です。

❖ 修了要件

本専攻では、下表のとおり20単位以上を修得し、博士論文の審査に合格することで博士(教育学)の学位が授与されます。

科目区分	単位数 (合計20単位)	内 容
基礎科目	必修2	教科開発学の原理的諸課題や教科開発学の研究方法論を習得したり、大学教員としての教育実践力、教員FD等、実践的諸課題を探究したりするための専攻基礎科目です。
	選択2	
分野科目	必修4	教育環境学と教科学の先進的かつ多様な知見を習得するとともに、その知見を教科開発、教育方法、教材開発などに活用することを追求するための専攻分野科目です。
	選択8	
応用科目	必修4	教員から提示された研究課題や自己の研究課題について、成果発表を通じた学生自身の課題追究、各学生の研究進捗状況をフォローアップするための専攻応用科目です。

❖ 過去の博士論文

- ・高等学校保健科教育における健康の社会的決定要因の認識を深めるための指導に関する研究
- ・J. L. メリアムによるミズーリ大学附属初等学校におけるカリキュラムと実践
- ・非認知的スキルの育成に資するサービス・ラーニング型総合的な学習の時間に関する研究
- ・電気抵抗の科学的概念の形成を促す教材と指導法の開発

❖ 研究指導教員紹介

職 名	氏 名	担当分野
教授	石川 恭	教育環境学
特別教授	鈴木 裕子	教育環境学
教授	野平 慎二	教育環境学
准教授	竹川 慎哉	教育環境学
教授	石田 靖彦	教育環境学
教授	梅田 恭子	教育環境学
理事	伊藤 貴啓	人文社会系教科学
特別教授	丹藤 博文	人文社会系教科学
特別教授	中野 真志	人文社会系教科学
理事	岩山 勉	自然系教科学
教授	大鹿 聖公	自然系教科学
教授	小谷 健司	自然系教科学
教授	寺本 圭輔	創造系教科学



共同教科開発学専攻
教育環境学分野 3年生
諏訪園 純さん

PROFILE

国語科専任教員として15年以上の経験と実績を持つ。本専攻では、学習者にとって古典を価値あるものとするため、主に「源氏物語」を手がかりとして教材や指導法について研究している。

◆ 博士課程で得られたことは何ですか。

今日のエデュケーションに適合した教科内容構成を研究する本専攻での学びにより、現職教員として学校教育現場で勤務する際の見方や考え方が相対化され、変わってきていると思います。教育現場での実践と大学院の授業で得られる(主に)理論とが、相乗効果を生み出していると感じられます。例えば、教室の内外での生徒のちょっとした言動も、その背景にある意味や理路とともに捉え、考えることができるようになりました。そして、そうした実践の場での感触を自分の研究にも活かすことができている。また、教育環境学を含めた様々な分野の授業を受講することにより、教科に関して、単に親学問を縮小した教科内容化ではなく、教科専門・教科教育・教職専門という3つの領域を連携させた中で実践的・実証的に研究する姿勢が自分の中に培われていることを実感しています。

詳しくはこちらから検索 ▶▶



※ 2025年7月現在

入試情報

詳しくは右の二次元バーコードから2026年度(令和8年度)の学生募集要項をご確認ください。出願条件によっては履修相談が必要となりますので、教務企画課までご相談ください。



教育実践高度化専攻 教職大学院の課程

教育支援高度化専攻 修士課程

出願資格 (詳しくは「募集要項」をご確認ください。)

- (1) 教育実践高度化専攻・教育支援高度化専攻に共通する出願資格
大学を卒業した者、2026年3月卒業見込みの者、又はそれに準ずる者
- (2) 教育実践高度化専攻における出願資格
2026年3月末日現在に必要な教職経験等は下記のとおりです。

コース	現職教員※1	現職教員以外
学校マネジメントコース	常勤職員で約5年以上の教職経験	出願不可
教科指導重点コース	教職経験年数の制限はありませんが、一種免許状を保有していること(2026年3月までに取得見込みの者を含む)。常勤職員としての教職経験が約5年以上と5年未満の方で選抜方法が異なります。	一種免許状保有※2 又は2026年3月までに取得見込みの者
児童生徒発達支援コース		
地域・教育課題解決コース		

※1 本学教職大学院入学時から修了時まで、常勤職員として在籍する見込みであること
※2 幼稚園、小学校、中学校、高等学校、特別支援学校、養護教諭のいずれか

入試の日程

9月試験	出願期間 8/1(金)～8/7(木)
	試験日 9/13(土)・9/14(日)
10月試験	出願期間 10/3(金)～10/9(木)
	試験日 10/25(土)・10/26(日)

※1 出願受付は郵送のみ。
出願期間最終日の17時までに入試課必着。
※2 欠員補充のために、追加募集することがあります。

選抜方法及び配点

教育実践高度化専攻	事前提出書類		口述試験	筆記試験
	活動報告書	研究計画		
現職教員 5年以上	400点	100点	300点	200点
教育委員会等 派遣教員	—	500点	500点	—
学部卒業見込者・学卒者・社会人 現職教員5年未満	200点	200点	400点	200点
推薦	400点	200点	400点	—

教育支援高度化専攻	事前提出書類		口述試験	筆記試験
	活動報告書	研究計画		
臨床心理学コース	100点	100点	400点	400点

教育支援高度化専攻		事前提出書類		口述試験	筆記試験
		活動報告書	研究計画		
日本型教育グローバルコース	一般	—	400点	300点	300点
	協定校	400点	200点	400点	—

教育支援高度化専攻		事前提出書類		口述試験	筆記試験
		活動報告書	研究計画		
教育ガバナンスキャリアコース	教育委員会等 派遣自治体職員	—	600点	400点	—
	現職自治体・学校事務職員、他教職員(自治体・学校推薦)	400点	200点	400点	—
	学部卒業見込者、学卒者、社会人、現職自治体・学校事務職員、他教職員(推薦以外)	200点	200点	400点	200点

共同教科開発学専攻 後期3年のみの博士課程

出願受付は郵送のみ。出願期間最終日の17時までに静岡大学教育学部学務係必着。

出願資格

修士の学位又は専門職学位を有する者、2026年3月取得見込みの者、又はそれに準ずる者(詳しくは「募集要項」をご確認ください。)

選抜方法

入学者の選抜は、出願書類と小論文試験、外国語(英語)筆記試験、口述試験の結果を総合して行います。(詳しくは「募集要項」をご確認ください。)

入試の日程

出願期間：9/19(金)～9/26(金)
試験日：11/8(土)
実施場所：静岡大学(静岡県静岡市駿河区大谷836)

入学料・授業料

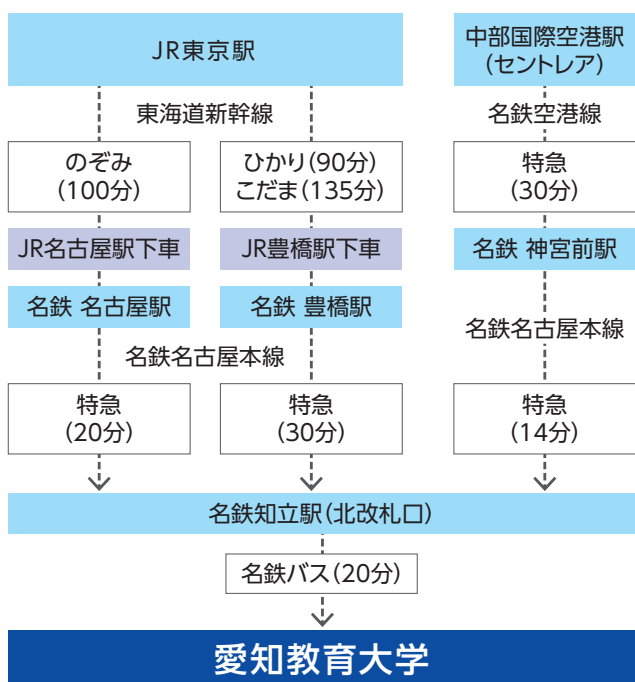
■ 入学料：282,000円

■ 授業料：(半期分) 267,900円 (年額) 535,800円

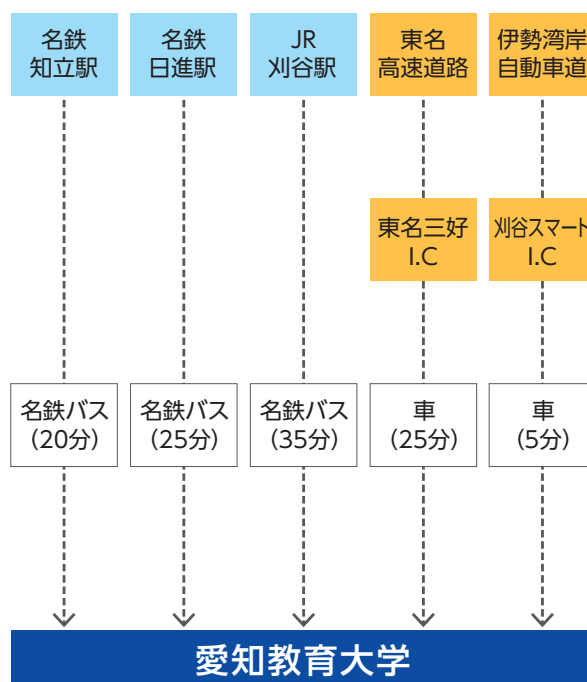
経済的支援や奨学金制度については、本学ホームページをご覧ください。

ACCESS

東京駅・セントレアからお越しの場合



近隣からお越しの場合



- 名鉄名古屋本線「知立駅」北改札口からバスで約 20 分「愛知教育大前」下車
 - 名鉄豊田線「日進駅」からバスで約 25 分「愛知教育大前」下車
 - JR 東海道本線「刈谷駅」北口からバスで約 35 分「愛知教育大前」下車
- ※鉄道・バスの発着時刻等については、各交通機関のホームページ等でご確認ください。



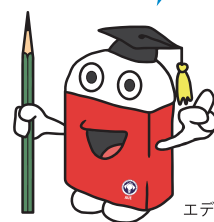
愛知教育大学の
ホームページは
コチラ→



<https://www.aichi-edu.ac.jp/>



愛教ちゃん



エディ

愛知教育大学公式マスコットキャラクター

入試について

入 試 課 TEL 0566-26-2203

修学相談について

教 務 企 画 課

教 職 大 学 院 TEL 0566-26-2679

修士課程・博士課程 TEL 0566-26-2697

共通メールアドレス support_ml@m.auecc.aichi-edu.ac.jp



国立大学法人

愛知教育大学

AICHI UNIVERSITY OF EDUCATION

愛知教育大学大学院

〒448-8542 愛知県刈谷市井ヶ谷町広沢1

愛知教育大学大学院教育学研究科2026

2025(令和7)年7月発行

編集：教務企画課